



## 行ってきました！修学旅行

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定の9月から延期となり、12月14日から3日間修学旅行（香川・徳島方面）に行ってきました。アスタムランドや四国水族館の理科学習、中野うどん学校の食育学習、金毘羅宮の歴史学習、そして仲間との絆を育んだレオマワールド。一人一人がそれぞれに仲間と過ごした3日間を有意義に過ごせたことと思います。

特に、見学施設やホテルの従業員の方々からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

残すところあと4カ月となりました。上級生として最後の良き爪痕をしっかり残してほしいものです。



## 国際理解教育の取組

12月1日（水）に趙 景明さん他7名にお越しいただき、中国文化体験学習を5年生対象に行いました。前半は、二胡のミニコンサートを鑑賞しました。誰もが知っている『君をのせて』や『ビリーブ』、中国でポピュラーな『牧羊姑娘』など、全10曲も演奏してくださいました。

二胡とは、中国民族楽器の一つで、二本の弦を馬の尾の毛を張った弓でこすって演奏します。その歴史は古く、中国大陸の漢民族の間で「胡」と呼ばれていた遊牧民族が伝統楽器として楽しんでいたものが漢民族に伝わり、楽器本体に二本の弦が張ってあったことから、「二胡」と呼ばれるようになったという説があります。

日本でも、“女子十二楽坊”が以前、大人気になりましたがご存じですか？ちなみに「十二」はメンバーの人数を表しているのではなく、中国で縁起のいい数字を使用したものだそうです。

後半は、チェンツ（羽子板遊びの羽を蹴鞠のようにして蹴る遊び）・中国ゴマ・切り絵など、中国の伝統的な遊びを体験しました。残念ながら時間の都合上、1クラス1つの体験しかできませんでしたが、一人一人が楽しみながら活動することができていました。



## 見元さんいつもありがとうございます



みなさん、校長室入り口付近に展示されている左図の作品をご覧ください。ご覧になったことはありますか？

これは、地域の見元不二子さんの作品で、月が替わるたびに、作品を入れ替えてくれます。12月は、ポインセチアを題材にしています。本当にありがたいことです。

右側は、今年の干支、牛をモチーフにした作品です。来年は寅年になりますが、今からどんな作品が届くのか楽しみです。

三元さん、いつもありがとうございます。

### 【車いす体験（4年生）】

12月2日（木）、高知市社会福祉協議会 障がい者福祉センターの吉良さん、そして南国市在住の山本さんに来ていただき、4年生が車いす体験活動を行いました。この日は、最低気温が1℃と寒さが厳しい状況ではありましたが、お二人のお話を熱心に聞くことができました。

最初に、山本さんから車いすでの生活についてのお話があり、生活用具や住居にさまざま工夫をしていることや苦労していることなどをお聞きました。

次に、吉良さんから車いすの扱い方や補助の仕方について学習しました。

最後に、実際に車いすに乗る人、補助する人にわかれて、点字ブロックやスロープ、ジグザグ走行などを体験しました。貴重なお話や子どもたちが体験する活動を提供していただきありがとうございました。



### 吾唯足るを知る<sup>18</sup>

#### 【体験活動の重要性】

新型コロナウイルス感染症の感染率も減少し、学校では体験活動・校外活動等を再開しています。もちろん教室での学習も大切なのですが、特に小学校において、五感に感じながら様々な活動を体験していくことはとても重要です。

これまで、リモートや映像等で体験できないことを補ってはきましたが、やはり体験活動にはかないません。子どもたちの質問したいなという顔や興味をそそられている顔を見ると、やってよかったなと思います。

